

コミュニティ活動に関するアンケート結果

1. 目的

協働によるまちづくりを推進していく上で、総合計画の策定やパートナーシップ条例(仮称)制定に向けての基礎資料とするため、地域でまちづくり活動に取り組むコミュニティ協議会の活動状況や課題を調査するもの。

2. 内容

- (1) 調査対象：あま市内のコミュニティ協議会（8 団体）
- (2) 調査方法：郵送
- (3) 調査期間：平成 23 年 6 月 23 日～7 月 15 日

3. 調査項目

- (1) 団体の活動について
- (2) 他の団体と連携して行う活動について
- (3) 協働によるまちづくりについて

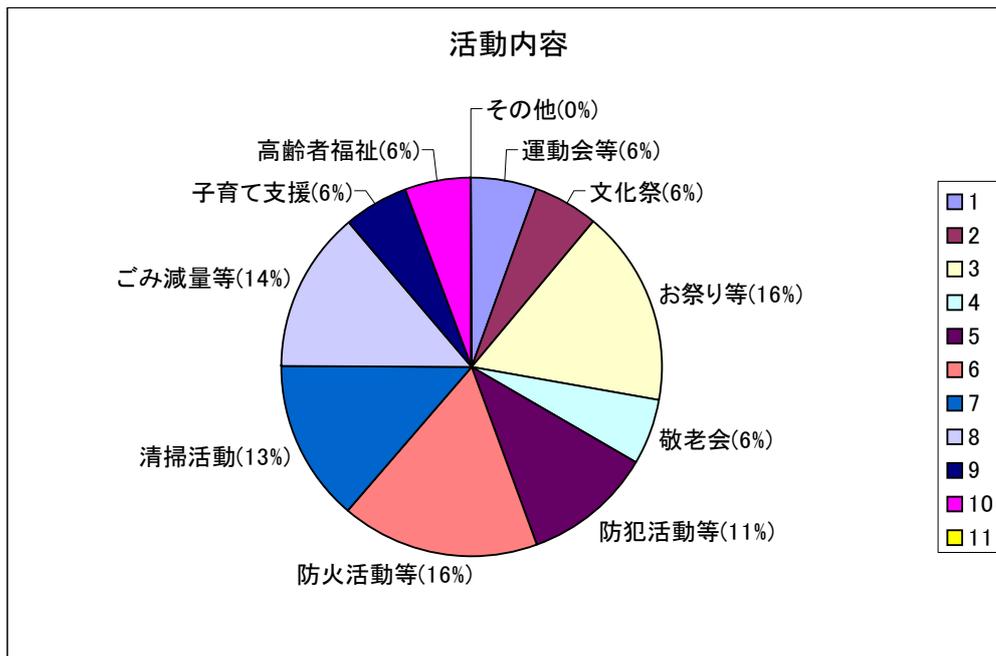
4. 回収結果

配布数：8 団体
回収数：6 団体
回収率：75%

I. 貴団体の活動について

(1) 現在、貴団体が行っている活動をすべて選び、番号に○をつけてください。

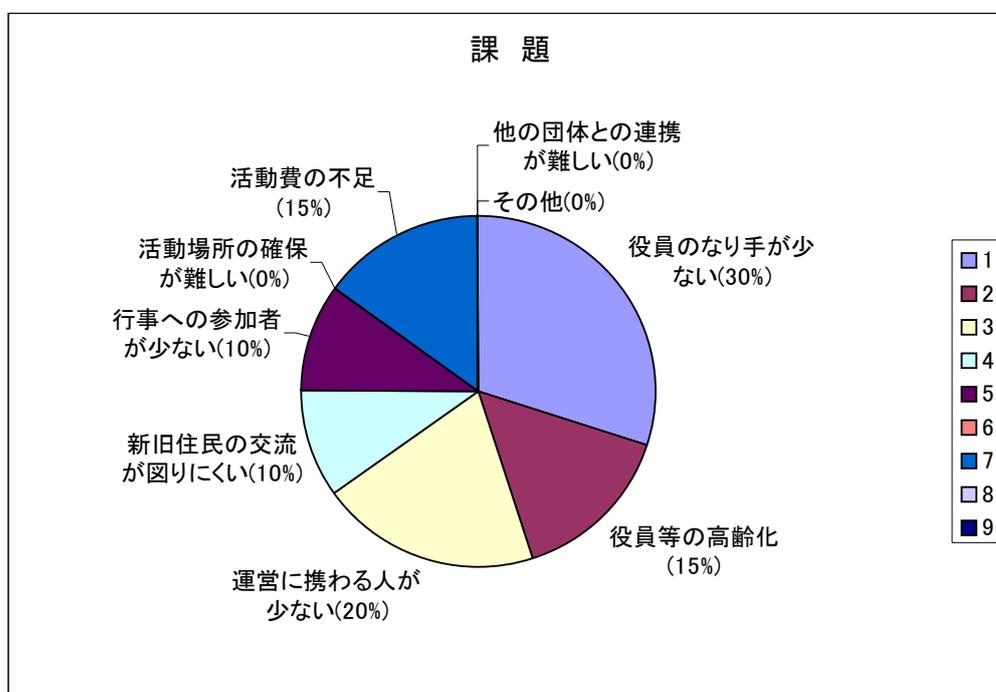
回 答	件 数	構成比
1. 運動会、スポーツ大会	2	6%
2. 文化祭	2	6%
3. お祭り、盆踊り	6	16%
4. 敬老会	2	6%
5. 防犯活動・パトロール	4	11%
6. 防火・防災活動	6	16%
7. 清掃等の美化活動	5	13%
8. ごみの減量・再資源化	5	14%
9. 子育て支援活動	2	6%
10. 高齢者福祉活動	2	6%
11. その他	0	0%



各コミュニティ協議会で行っている活動数は、平均で6事業であり、「お祭り、盆踊り」、「防火・防災活動」が最も多い。次いで、「ごみの減量・再資源化」、「清掃等の美化活動」、「防犯活動・パトロール」が上位に挙げられており、地域コミュニティを促進する活動や地域貢献活動が多く挙げられている。

(2) 貴団体の活動や運営にあたって課題となっているものをすべて選び、番号に○をつけてください。

回 答	件 数	構成比
1. 役員のなり手が少ない	6	30%
2. 役員・会員の高齢化	3	15%
3. 運営に携わる人が少ない	4	20%
4. 新旧住民の交流が図りにくい	2	10%
5. 行事への参加者が少ない	2	10%
6. 活動場所の確保が難しい	0	0%
7. 活動費の不足	3	15%
8. 他の団体との連携が難しい	0	0%
9. その他	0	0%



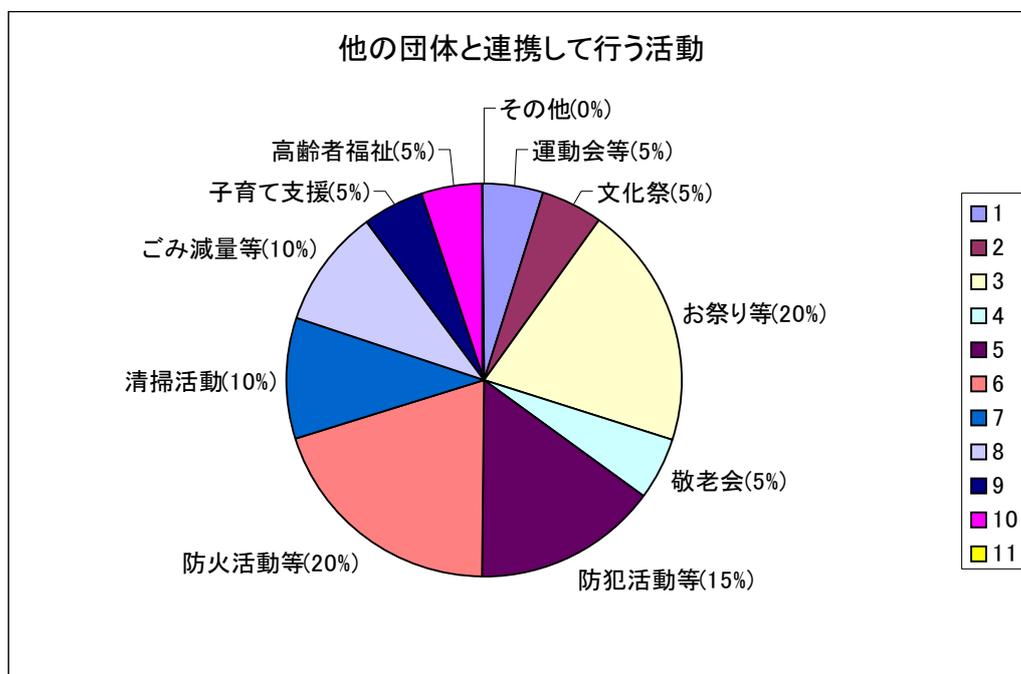
活動や運営にあたっての課題としては、「役員等のなり手が少ない」、「運営に携わる人が少ない」、「役員・会員の高齢化」など、組織の人的課題が半数以上を占めている。次いで、「活動費の不足」が多く、「新旧住民の交流が図りにくい」、「行事への参加者が少ない」など、人口流入の増加による住民意識に関しても課題として挙げられている。

Ⅱ. 他の団体と連携して行う活動について

※「他の団体」とは、自治会、ボランティア団体・NPO、事業所、子ども会、老人クラブ、学校、社会福祉協議会及び市役所などを指します。

(1) 上記でお答えいただきましたIー(1)の活動のうち、他の団体と連携・協力して行っている活動がございましたら、その連携先の団体名を記入してください。

回 答	件数	構成比	主な連携先
1. 運動会、スポーツ大会	1	5%	自治会、子ども会、老人クラブ
2. 文化祭	1	5%	子ども会、老人クラブ
3. お祭り、盆踊り	4	20%	子ども会、老人クラブ、婦人会
4. 敬老会	1	5%	老人クラブ
5. 防犯活動・パトロール	3	15%	老人クラブ
6. 防火・防災活動	4	20%	自治会、子ども会、消防団
7. 清掃等の美化活動	2	10%	自治会、子ども会、老人クラブ
8. ごみの減量・再資源化	2	10%	子ども会、婦人会
9. 子育て支援活動	1	5%	子ども会
10. 高齢者福祉活動	1	5%	老人クラブ
11. その他	0	0%	



コミュニティ協議会でやっている活動のうち、他の団体と連携して行っている活動は、「お祭り、盆踊り」、「防火・防災活動」が最も多い。いずれの活動についても、主な連携先として自治会、子ども会、老人クラブが挙げられている。

(2) 他の団体と連携・協力して活動を実施する中で、効果的であったこと、課題となっていることなどがございましたら、自由にご記入ください。

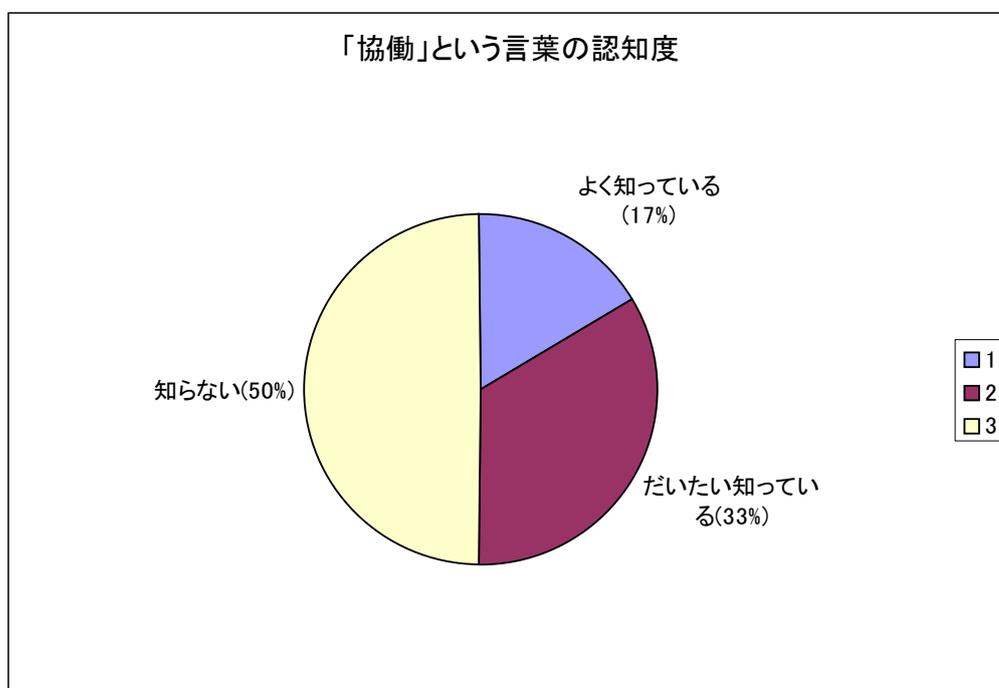
・連携・協力がうまくいっているので、このまま進めたい。

Ⅲ. 協働によるまちづくりについて

(1) 「協働」という言葉をご存知ですか。該当する番号に○をつけてください。

※「協働」とは、「複数の主体が、同じ目標を共有し、ともに力を合わせて活動すること」をいう。

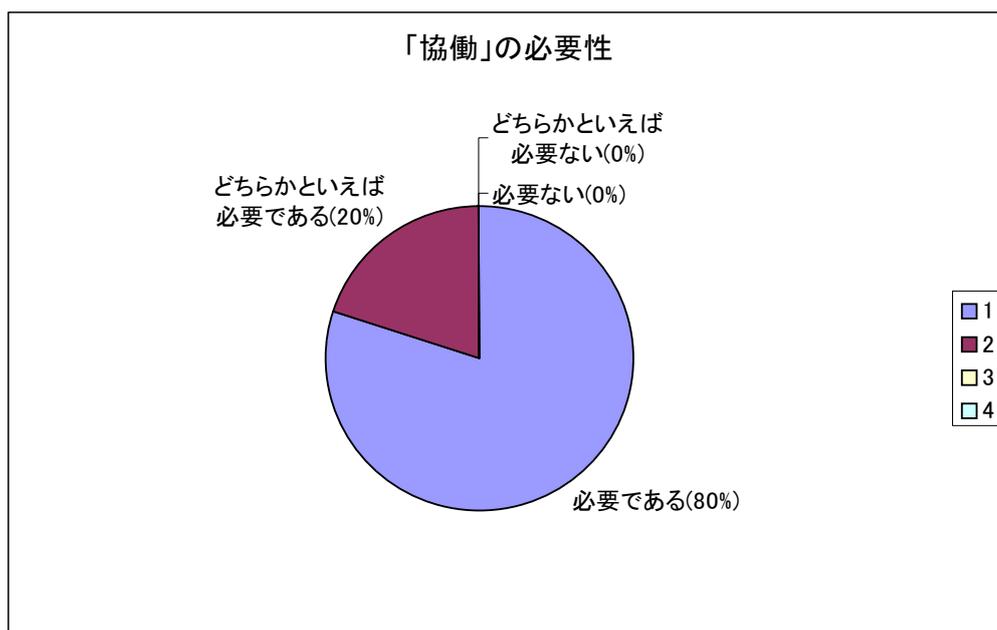
回 答	件 数	構成比
1. よく知っている	1	17%
2. だいたい知っている	2	33%
3. 知らない	3	50%



「協働」という言葉について、「よく知っている」、「だいたい知っている」をあわせると、半数の方が「知っている」と答えている。

(2) まちづくりを進めていく上で、「協働」という方法が必要だと思いますか。
該当する番号に○をつけてください。

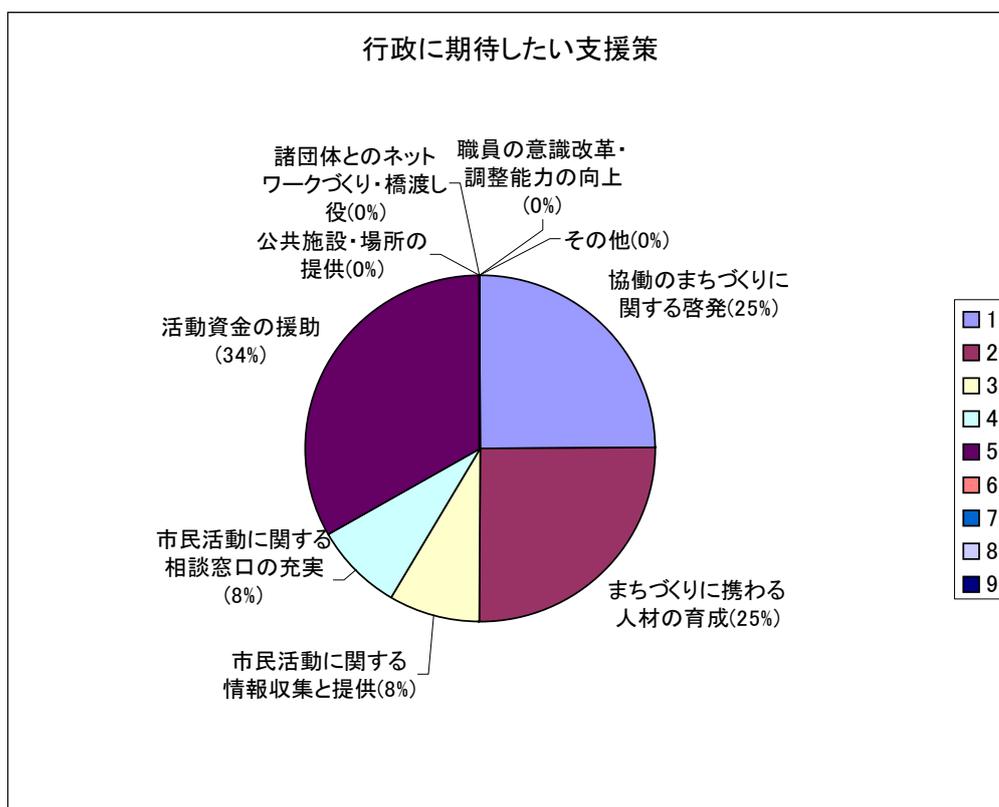
回 答	件 数	構成比
1. 必要である	4	80%
2. どちらかといえば必要である	1	20%
3. どちらかといえば必要ない	0	0%
4. 必要ない	0	0%



まちづくりを進めていく上で、協働が「必要である」、「どちらかといえば必要である」をあわせると、すべての方が必要だと答えている。

(3) 「協働によるまちづくり」を進めていく上で、行政に期待したい支援策を上位3つまで選び、番号に○をつけてください。

回 答	件 数	構成比
1. 協働のまちづくりに関する啓発	3	25%
2. まちづくりに携わる人材の育成	3	25%
3. 市民活動に関する情報収集と提供	1	8%
4. 市民活動に関する相談窓口の充実	1	8%
5. 活動資金の援助	4	34%
6. 公共施設・場所の提供	0	0%
7. 職員の意識改革・調整能力の向上	0	0%
8. 諸団体とのネットワークづくり・橋渡し役	0	0%
9. その他	0	0%



行政に期待する支援策については、「活動資金の援助」が最も多い。次いで、「協働のまちづくりに関する啓発」、「まちづくりに携わる人材の育成」が上位に挙げられている。

(4)「協働によるまちづくり」を効果的に推進するための仕組みや手法などについて、ご意見・ご提案がございましたら、自由にご記入ください。

- ・行政、土木、婦人会、老人クラブ、子ども会等が、年に2回程度コミュニケーションを図る。
- ・地域内で活動している団体、サークル、各部をコミュニティの組織に加入してもらい、各部の役員をコミュニティの役員として参加。
- ・各行事の運営に向け、事前に三役会、各部代表者会議を開き、双方が確認をして実施することが協働につながる。
- ・自治会長は、コミュニティの相談役として必ず入ってもらう。
- ・役員会は、総数57名を対象に案内を出し、行事に向けて検討する。
- ・連絡体制の確保が大切だと思う。
- ・「協働」の言葉は初めて聞いた。